

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月26日

協議会名: 壬生町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

資料1

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
壬生タクシー(有)	事業名: 壬生町デマンドタクシーみぶまる運行事業 運行区域: 壬生町全域・ゆうがおパーク(下野市)	・公共交通計画に掲げた目標を達成できるよう事業実施に着手した。 ・運転免許の自主返納者へデマンドタクシーの利用券を支給し、交通弱者の移動手段の確保を行った。	A	・目標①(登録者数): 達成 登録者数目標5,979人/年に対し、7,303人/年であった。 ・目標②(利用者数): 未達成 利用者数目標7,622人/年に対し、7,030人/年であった。 ・目標③(運転免許返納者数): 達成 返納者数目標96人/年に対し、97人/年であった。	1市2町の交通利用促進の一環として始めたデマンド申込のワンストップ手続きは今後も継続し、高齢者だけでなく幅広い世代に利用いただけるよう努める。ただし、各市町で予約方法が異なるため、広域連携事業も利用者に、より便利なサービスと認識してもらえるよう各市町と調整し改善等を検討する。
壬生観光自動車(有)	運行日: 月～金(土・日・祝日、年末年始運休) 運行時間: 8～16時 1時間/便 運行本数: 1日9便 運行本数: セダン型タクシー2台	・利便性の向上として、予約管理システムとドライバーとの連携が円滑に行えるように、タブレットを運行車両に実装し、リアルタイムで予約状況や運行状況等が反映され、問い合わせ等の対応も行きやすくなった。	A	B	策定した公共交通計画の目標をそれぞれ達成できるよう、関係機関との連携を密に図り、利用しやすく、利便性の高い事業実施に努める。また、デマンドタクシー事業の周知・案内の促進を引き続き行い、利用の促進に努める必要がある。
みどり交通(有)	運賃: 中学生以上300円、小学生100円、未就学児無料	・1市2町(下野市・上三川町・壬生町)のデマンド相互利用運行を継続し、1枚の申込用紙で各市町のデマンド申込を同時に行う制度を継続。これにより各市町それぞれの申込が不要となり、利用者にとって広域での利用がより身近になった。	A	目標①及び③は、それぞれ達成しており、目標①については、1市2町のデマンド相互利用申込の影響もあり登録者数が増加傾向になった。しかし、利用者数は目標値に届かず、昨年度の実績7,124人も下回り利用者が伸び悩む結果となった。年度当初は新型コロナウイルス感染拡大による影響も見受けられる。人の動きは以前より多くなっている印象ではあるが、利用者増加及び安定にはもう少し時間を要すると思われる。また、利用者の年齢層も高齢者が多く、通院等でリピーターとして利用されていた方が、入院や施設入所、家族の送迎により利用しなくなっていることも考えられる。	策定した公共交通計画の目標をそれぞれ達成できるよう、関係機関との連携を密に図り、利用しやすく、利便性の高い事業実施に努める。また、デマンドタクシー事業の周知・案内の促進を引き続き行い、利用の促進に努める必要がある。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	(協議会による一次評価の際は記入不要)
-------------------------	---------------------

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

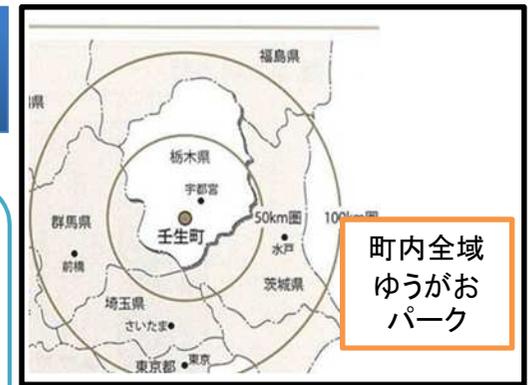
令和6年1月26日

協議会名：	壬生町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>●壬生町地域公共交通計画の基本的な方針 「住みよい」を支えるまちづくりと連携した移動手段の確保～持続可能な地域公共交通の実現と地域の多様な輸送資源の活用～</p> <p>目標1 町内の主要拠点をつなぐ新たな公共交通ネットワークの形成 目標2 町民に安全で安心な移動を提供するスムーズな公共交通サービスの導入 目標3 町民に行政にもやさしい持続可能な地域公共交通の確保</p> <p>●上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性 本町は、公共交通空白地が多く、町民の移動手段はほとんど自家用車となっている。年々加速する人口減少や高齢化社会において、高齢者を始めとする交通弱者への移動支援の提供は公共交通サービスの喫緊の課題であり、自治体の役割として重要な施策である。 また、現在実証運行中ではあるが、新たな公共交通として町コミュニティバスみぶーぶの運行により、目標でもある新たな公共交通ネットワークの形成を図るとともに、併せて課題解決のために、既存の事業を今後も継続し社会情勢の状況や利用者のニーズに合わせた公共交通を提供する必要がある。以上のことから、本町の多くを占める公共交通空白地の解消や持続可能な地域公共交通の構築、「住みよい」まちづくりを目指す。</p>

令和5年度 壬生町地域公共交通会議（栃木県壬生町） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

壬生町は、東武鉄道宇都宮線の4駅（壬生駅、国谷駅、おもちゃのまち駅、安塚駅）を中心に住宅地や商業地が形成されている。本町における公共交通は、鉄道（東武鉄道）のほか、おもちゃのまち駅－獨協医科大学病院を結ぶバス路線及び令和4年度より本格運行となった下野市との広域連携バス「ゆうがおバス」、そして町が運行するデマンドタクシー“みぶまる”を展開しているが、町民の移動手段のほとんどが自家用車に頼っている状況となっている。また、東武鉄道駅4駅から離れた地域は、公共交通の利便性が低い地域（公共交通空白地）が広く存在しており、かつ高齢化も顕著にみられるため、自家用車に依存した生活では、今後通院や買い物などの生活に必要な外出に危険が伴う課題もあるため、高齢者も含め町民が安心して外出することができる公共交通の構築と公共交通空白地の解消が求められている。



交通計画の基本的な方針／定性的な目標

【基本方針】

“住みよい”を支えるまちづくりと連携した移動手段の確保

【目標】

- ・ 町内の主要拠点をつなぐ新たな公共交通ネットワークの形成
- ・ 町民に安全で安心な移動を提供するスムーズな公共交通サービスの導入
- ・ 町民にも行政にもやさしい持続可能な地域公共交通の確保

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

現況でも記載したとおり、町民の移動手段のほとんどを自家用車に依存している状況であり、高齢社会も年々進展している現在において、運転免許を持たない高齢者をはじめ交通弱者の移動支援を行う必要がある。

対応策として、交通弱者が危険を感じず、生活に必要な外出を安心してできるようデマンドタクシー（乗合タクシー）事業を継続して実施している。

また、新たな交通ネットワークの形成として、令和5年2月より町コミュニティバスの実証運行を実施している。また、実証運行期間内で、ダイヤやルートの見直しを図り、交通弱者の移動支援や公共交通空白地の解消、新たな公共交通の利便性の向上を図る。

アピールポイント

【デマンド】

- ・ 運転免許自主返納支援事業：高齢者だけという年齢制限を設けず、免許を返納した方すべてを対象。
- ・ 利用の少ない時間帯の予約受付オペレーターの配置人数を減らし、経費削減に努めている。
- ・ 予約が取れなかった方に対する代替案の提案や、行き予約時に帰り予約の案内など、利用に繋がるような対応に努めている。
- ・ 予約管理システムとドライバーとの連携が円滑に行えるように、タブレットを運行車両に実装し、リアルタイムで予約状況や運行状況等が反映されるようになっている。

【1市2町デマンド相互利用】

- ・ 公共交通利用促進の取組の一環として1市2町のデマンド申込のワンストップ化を実施。

【広域連携バス「ゆうがおバス」】

- ・ 下野市と本町を結ぶ本路線は令和元年10月より実証運行を開始し、令和4年度より本格運行へ移行。

面積	61.06 km ²
人口（R5.4.1時点）	38,473 人
15歳未満	4,429 人
65歳以上	11,838人
高齢化率	30.8 %

交通計画の計画期間

令和4年4月～

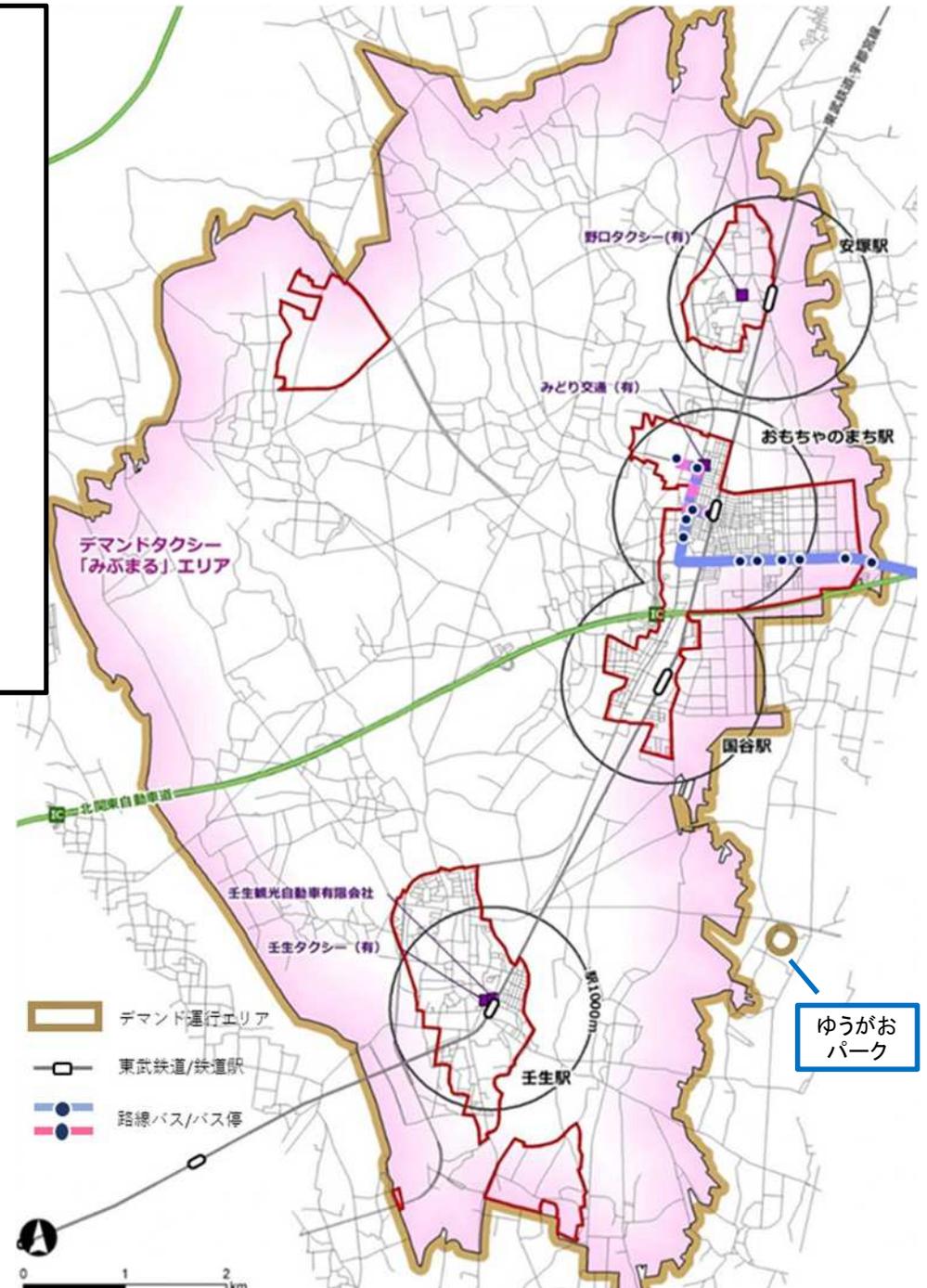
令和8年3月

協議会開催状況

（令和5事業年度に係るもの）

- ・ 第1回（R5年5月31日）
生活交通確保維持改善計画協議
町公共交通事業の実績報告 等
- ・ 第2回（R5年11月9日）
町コミュニティバス運行について
R5フィーダー系統確保維持計画変更
- ・ 第3回（R6年1月26日）
デマンドタクシー事業評価
R6フィーダー系統確保維持計画変更
公共交通計画一部変更・追加について 等

運行区域: 壬生町全域・ゆうがおパーク(下野市)
 運行日: 毎週月～金曜日
 運休日: 土・日・祝日(年末年始12/29～1/3)
 運行時間: 8～16時 1時間に1便の間隔で運行
 運行本数: 1日9便(8、9、10、11、12、13、14、15、16時便)
 運行車両: セダン型タクシー2台
 運賃: 中学生以上300円 小学生100円 未就学児無料
 【令和4年10月1日～令和5年9月30日(244日間)】
 利用状況: 7,030人・3,270便
 運賃収入: 1,785,400円
 運行費: 14,987,038円
 収支率: 11.9%



ぶらっとみぶまち

Mibu-machi community bus



壬生町コミュニティバス

令和5年2月16日から

運賃

中学生以上	200円
小学生・障がい者	100円
未就学児	無料

回数券 (200円×11枚)	2,000円
回数券 (100円×11枚)	1,000円



番号	停留所
1	壬生町役場
2	カスミ壬生店
3	自成館
4	壬生駅西口
5	足利銀行壬生支店前
6	壬生城址公園
7	明光義塾前
8	福和田橋
9	JAしもつけ壬生
10	道の駅みぶ「みらい館」
11	おもちゃ博物館
12	おもちゃのまち駅西口
13	獨協医科大学病院
14	マルシェ安塚店
15	安塚駅
16	おもちゃのまち郵便局前
17	おもちゃのまちバンダイミュージアム前
18	フレスポおもちゃのまち
19	コストコ壬生倉庫店前
20	むつみの森
21	壬生町児童館前
22	国谷駅西口
23	ラーメンショップ前

番号	停留所
1	壬生町役場
2	壬生駅東口
3	壬生高校

運行事業者：株式会社ティ・エイチ・エス ☎0282(61)2301